

# KOMOTO STYLE VOL.24

2021 AUTUMN-WINTER

TAKE  
FREE

理想の家づくり物語 取材レポート

※マスク、消毒、ソーシャルディスタンス等、新型コロナウイルス感染症予防に十分配慮して取材をさせていただきました。



アイコンにスマホをかざすと愉快的取材シーンを視聴できます。  
あなたのスマートフォンに無料アプリ「COCOAR2」をダウンロード、インストールしてください。



## USER REPORT

# #01

新築  
ユーザーレポート  
邑楽郡 / 川邊邸

## 家族みんなの 笑顔が広がる、 居心地よい住まい

シンプルな色味の外壁とスクエアの  
直線的なシルエットが印象的な川邊邸。

家の前に設置されたバスケットゴールでは、

お子さん達が歓声をあげながらシュートの練習中です。

笑顔いっぱいの川邊さんご一家に、

家づくりのこだわりや新居の住み心地について伺いました。



大満足の住まいをバックに、家族全員でパチリ

## 難航した土地探しを乗り越え…「雨降って地固まる」の家づくり

川邊さん一家は、ご夫婦と中2と小6の女の子、小2の男の子という5人家族。ご主人は、地域で長く愛される老舗「川邊豆腐店」の5代目です。

新居を建てる前は、ご主人の職場でもあるご実家に同居していたというご夫妻。しかし、3人のお子さん達が大きくなるにつれ、「部屋が手狭になる上、生活サイクルが徐々に実家とは変わってきてしまって」といろいろ不便を感じるようになり、家づくりを決めたそうです。河本工業に依頼したきっかけは、ご主人の叔父様が河本工業に勤めていたご縁から。「家づくりの参考にするために住宅展示場などでほかのハウスメーカーなども巡ってみました。たくさん家を見ているうちに疲れてしまって(笑)。もう河本工業さんにお任せしようと決めたんです」と、奥様が教えてくれました。そして、いよいよマイホーム!と思いきや、ここ

で予想していなかった問題が持ち上がります。豆腐店の仕事は朝が非常に早いため、ご主人にとって職住接近は条件のひとつ。そこで、ご実家から近い別の場所に家を建てることを決めたのですが、規制や手続きの問題で難航し、結局土地探しは白紙に。その後、ご実家のすぐ隣の場所に家を建てられることになり、当初の予定からだいぶ遅れて新居の工事がスタートしました。

計画が後ろにずれ込んだ分、練りに練ったのが間取りなどのプランです。「こんな家がいいな、と思ったら、そのたびにアイデアを書いて営業の久保田さんに相談しました」と奥様。たくさんアイデアが膨らみ、奥様が間取りを書いた方眼紙は何冊にも上ったそうです。「出してくださったプランを元に図面を起こして。私は細かい部分を調整しただけですよ」という営業担当の久保田さんに、「久保

田さんにはわがままばかり言って困らせてしまいました。私達の思いつきにプロの目線からアドバイスをくれて助かりました」とご主人。こまめなやりとりの中で信頼関係が生まれ、はじめは人見知りをしてた一番下のお子さんも、今では久保田さんを「くーぼん」とあだ名で呼ぶ仲に。今年2月に新居が完成し、お子さん達は念願の自室に大喜びだったそうです。



お子さんたちも営業担当の久保田さんと仲良しに

## 1階中央に設置した和テイストの多目的ルーム



引き戸を開ければ玄関からすぐ上られる多目的ルームは、来客時にも活躍

川邊さんのお宅で目を惹くのが、1階の中央部分に位置する部屋です。部屋の三面は引き戸で、玄関からもリビングや廊下からも出入りができます。ほんのり和風のテイストが漂い、戸を閉めると飲食店の個室スペースのような風情も。この部屋について、「当初は和室を作りたいと思っていたんですよ」と、ご主人が教えてくれました。

「今はコロナでなかなか難しいですが、友達を招いて気軽に寛げるスペースがほしかったんです。でも、我が家はもう子ども達も大き

いですし、リビングで友人達とお酒を飲む訳にもいきません。それで、来客時に使える部屋を作ろうと考えました」その言葉に続いて、奥様も「私もこの部屋が一番のお気に入りなんです。子どもの学校の家庭訪問のときにも重宝しそうですよね」とニコリ。引き戸をすべて開ければ玄関から部屋を通り抜けてリビングや2階に行くことができ、戸を閉めればほかの住居スペースとは独立した部屋になります。部屋の構造上エアコンを取り付けられないため、リビングから



和の空間で  
お酒を一杯!

冷気や暖気を送れるよう、壁に小さな換気口をあける工夫も。

ご夫婦の検討の結果、和室はフローリングのプランに変更になりましたが、「和風のものが好きなんです」というご主人の言葉通り、そこかしこに和の雰囲気がうかがえます。たとえば、1階中央の部屋は天井を板張りにして和モダンな印象に。また、玄関のたたきには、砂利を並べて固めた「洗い出し」が用いられています。「工事中にふと思いついて久保田さんに相談したら『できますよ』と言ってきて。良い雰囲気に仕上がって感謝です」というご主人に、「寺院などではよく用いられる手法ですが、一般住宅では珍しいですよ。実は私も初めての経験でした」と、久保田さん。これも、良好なコミュニケーションの賜物ですね。



「子ども達のためにも家づくりを決めてよかったですね」



白を基調にスッキリとまとめられた内装のリビング



一般住宅では珍しい「洗い出し」の玄関は、ご主人のこだわり

# BASKETBALL WE LOVE!



## 🏀 家族の導線と暮らしやすさに配慮した間取り

間取りを考えるときには、家族の動線にも配慮して廊下などを配置したという川邊さんご一家。「実は、家族が顔を合わせなくても済むようになっているんですよ」とご主人は語ります。どうということなのか尋ねてみると……「子ども達も大きくなると、きっと親の顔をあまり見たくないときもあれば、家族と一緒にいたいときもありますよね。友達が遊びに来たときも、リビングを通らずに子ども部屋に行けた方がいいかもしれない。そんな場合にも対応できるように、あえて“オープンではない”つくりをしたんです」。



ダイニングのカウンターは、お子さん達の勉強コーナー

とは言え、お子さん達は、自室よりもリビングでくつろぐ時間の方が長いようです。ダイニングには、読書や勉強をしやすいように、コンセントを備えたカウンターも設置されていました。一方で、動線を考えて廊下を多くとったため、大きな収納スペースを確保するのが難しくなってしまったそう。そんな課題にも、ライフスタイルに合わせた工夫が施されていました。そのひとつが、洗面所とは別につくった「洗



2階の廊下にも洗面台を設置  
おしゃれな鏡はご主人のセレクト



料理のしやすいスッキリとしたキッチン。時には夫婦仲良くキッチンに立つことも

濯ルーム」です。「洗濯物は夜に干すことがほとんど」という奥様が使いやすいように、室内に広々とした物干しスペースを設けました。乾燥機のおかげで部屋干しでもカラッと乾く上、日中は大きなガラス戸から陽の光がたっぷり射し込みます。洗濯ルームのすぐ外には布団などが干せる物干しスペースもあり、出入りもラクラクです。

また、キッチンの脇には壁一面にパントリーを設置。飲み物など重い物を置くことが多いため、棚もしっかりと丈夫に作られています。



「おうちの中でお気に入りの場所は?」「自分のお部屋!」



乾燥機を備え付けた「洗濯ルーム」  
広々としたスペースで夜干しもラクラク



美しく敷き詰められた砂利はご主人の手によるもの

## 🏀 エクステリアにもこだわりがたっぷり

庭は、バスケットに熱中するお子さん達が練習しやすいように一部を土間コンクリートにし、バスケットゴールを設置。その脇にきれいに敷かれた砂利や芝生は、なんとご主人が手掛けたものだそうです。聞けば、玄関扉の前の無垢材の柱も、風合いが出るようにご主人自ら塗装をしたのだとか。

また、アクセントと目隠しを兼ねたグレーの外壁は、奥様のアイデア。新居が完成した後に、SNSなどで情報を集め、特殊発泡スチロールを使った外壁を設置したのだといいます。「もともとDIYなどの経験があった訳ではないんですけど、物を作るのは好きなんです」というご主人。「新居の完成をきっかけにいろいろやりはじ

めたら、やっぱり面白いですね。一通り手を加えて今はやる事がなくなったので、「次は何をしようかな」と探しているところですよ(笑)。もうすぐやってくる、新居での初めてのお正月に「とても楽しみです!」と笑顔いっぱいのお子さんご一家。新しい環境で、家族みんなの素敵な思い出が増えていくのでしょうね。



「だるまさんが転んだ!」「今ちょっと動いたよ」「動いてないよ!」



### コロナ禍で、家づくりのニーズはどう変化した?

住宅事業部 営業 久保田祥平

新築でもリフォームでもご要望が多いのが、玄関への手洗い場の設置です。中でも、手をかざすだけで水を出したり止めたりできるタッチレス水栓が人気ですね。そのほか、抗菌機能を持つ壁紙などへのニーズも高まっています。最近では、コロナ禍によって在宅時間が増え、以前よりも「快適な住空間をつくりたい」と考える人が増えているように感じます。過ごしやすい住まいをつくるために、気になることがあれば何でもお気軽にご相談ください!



スマホをかざしてね! /

## USER REPORT

# #02

リフォーム  
ユーザーレポート  
邑楽郡／鎌田邸



全て河本工業さんを  
信頼してお任せしてきました



愛犬のナナちゃんも  
青木さんが大好き!



AFTER

「リフォームでとっても  
使いやすくなりました」というキッチン

## 確かな信頼関係がつないだ 住まいのバージョンアップ

築32年という鎌田邸。新築から約15年後に行った外壁の張り替えを皮切りに、浴室やリビング、キッチンなど、数年ごとにリフォームを重ねてきました。今年1月には、外壁と屋根の塗装や玄関ドアの取り替えといったリフォーム工事が完了。鎌田さんご夫妻と河本スタッフとの固い信頼関係がありました。



BEFORE

### 暮らし続ける中での課題をリフォームで解決

鎌田さんご夫妻がこの場所に家を建てたのは、今から32年前。大工である奥様のお兄様が、設計や施工を手掛けたそうです。新築から約15年後に外壁の張り替えを河本工業に依頼し、それから、「ここが少し不便だな」「こうしたらもっと過ごしやすいのに」という住まいのさまざまな課題を、リフォームで解決してきました。

鎌田さんご夫妻と河本工業との出会いは、最初のリフォームよりもさらに前に遡ります。聞けば奥様は、現在河本工業の常務である半田公作氏が建築本部に在籍していた頃、その現場事務所で事務員として働いていた経験があるのだとか。その後、半田氏が住宅事業部に移ったため、外壁リフォームについて相談したそうです。……そんな話を伺っていると、玄関のインターフォンが鳴り、どうやら来客の様子。「？」と



サプライズで半田常務が登場

不思議顔の鎌田さんご夫妻の前に現れたのは、今まさに話題に上っていた半田常務です。実はこれは、奥様と半田常務の縁を聞き、施工担当者の青木さんが両人に内緒で仕掛けたサプライズ。思いがけない久しぶりの

再会にお互い笑顔でビックリです。「実際に工事が始まってみると、職人さん達がすごく丁寧で。仕事ぶりはもちろん、挨拶や片付けなども徹底されていて気持ち良かったですね」と語る奥様に、「お施主様が素敵な方だから、職人たちもおのずと『しっかりしなければ』と思ったのでしょう」と半田常務。この最初のリフォームが大満足の仕上がりがりだったために、次回以降も河本工業に頼もうと決めたそうです。



半田常務から青木さんへの引き継ぎもバッチリ

### スペースは変わらないのに水回りの使いやすさが大幅アップ

これまで行ってきた数々のリフォーム工事の中でも、ご夫婦が「大成功でした!」と声を揃えるのが、浴室を中心とした水回りのリフォームです。ご主人は「お風呂場とトイレと洗面所が1ヶ所にまとまっているのですが、以前は配置と仕切りのせいか、使い勝手が悪くて。洗濯機を買って換えたら狭くて入らず、仕方ないので自分で壁を抜いたんですよ」と、当時を振り返ります。しかし、リフォームによってそれぞれの配置を変えたことで、水回りの使いやすさが格段にアップ。「河本工業さんに相談し

たら、『こういう風に変えたらいいのでは』と図面で提案してくれたんです。その通りお願いしたら大正解!スペース自体は同じなのに、配置を工夫すればこんなに広々と使いやすくなるなんて驚きです」と奥様。「今では新しい洗濯機も余裕で置けますよ」と、お二人とも満面の笑顔です。また、3年ほど前にはキッチンも全面リフォーム。それまでのガスコンロからIHクッキングヒーターに変更し、お手入れが大幅にラクになったそうです。奥様が「ガスコンロは五徳の掃

除が大変だったんです。いくらキレイにしてもすぐに汚れてしまって。その点IHなら、調理後にサッと拭くだけ。日々の手間が全然違いますね」と教えてくれました。



みんなで一緒にパチリ

# FAMILY WE LOVE!



## 寛ぎのリビングと陽当たり抜群のサンルーム

リビングのリフォームでは、床の一部を掘り下げて掘りごたつ仕様に。もともとフローリングだったフロアにもカーペットを敷き、雰囲気を一掃させたそうです。「ホームセンターで掘りごたつを見て、『我が家にも作りたい』と河本工業さんに相談したんです。やっぱり、実際に工事をするなら信頼している河本工業さんをお願いしたい、と思って。イメージ通りに仕上がって大満足です」と、奥様。足を下ろしてラクな姿勢で腰掛けられるようになり、よりリラックスできるスペースへと生まれ変わりました。また、リビングの向こうには、浴室周りのリフォ

ームから数年後に増設したというサンルームが。陽の光がさんさんと降り注ぐサンルームには物干し竿も設置され、洗濯物もすぐに乾きそうです。「ここも、最初は自分でウッドデッキを作ったんですよ」とご主人。「防腐剤も塗ったんですが、やっぱり雨風にさらされているうちに木材の痛みが進んでしまって。それで、しっかりしたサンルームを作ってもらったんです」。サンルームから屋外につながるガラスの折戸の手前には、プリーツ形状でフルオープン可能なアコーディオン網戸を設置。開放感たっぷりな上、大きな荷物の出し入れもラクラクです。



陽当たり抜群のサンルーム。ナナちゃんも気持ちよさそう

## 住まいの気がかりを何でも相談できる存在

鎌田邸の内装は、玄関から廊下、リビングダイニングまで、白を基調とした清潔感あるイメージ。クロス質感が、スッキリとした中にも柔らかく温かな雰囲気を演出しています。「キッチンのリフォームをしたときに、1階と2階のクロスも張り替えたいんですよ。私たちがクロスのサンプルを見てもよく分からないから、青木さんにいろいろアドバイスしてもらって助かりました」と、ご主人。奥様も「何か気になることがあっても、青木さんに電話かメールをすると、すぐに来てくれるので安心です」と続けます。その言葉を裏付けるように、愛犬のナナちゃんも青木さんにすっかりなついている様子。

「寝室にクローゼットをつけたり、和室をフローリングにしたり、細かいリフォーム工事もいろいろお願いしましたね」というご夫妻の隣で、青木さんも「そういえば、窓をペアガラス(複層ガラス)にしましたね」とニコニコ。断熱性に優れたペアガラスで結露に悩まされることがなくなったうえ、防犯性も高まったといいます。今年、外壁の塗り替えや玄関ドアの取り替えを終え、「気になるところは大体リフォームできたので満足です」と笑顔を見せてくれたご夫妻。大切な住まいを長く快適に保つコツは、家のことなら何でも気軽に相談できる、河本スタッフとの信頼関係にあるようです。



屋根も修復して気候変動でも安心です

教えて!  
河本さん  
ANSWER FROM  
KOMOTO STAFF

### リフォームに適切なタイミングはある?

河本リフォームセンター 青木 正知

大規模なリフォーム工事を行うと、まとまった費用が必要になる上、工事中の仮住まいの確保や荷物の移動などで負担が大きくなってしまいう可能性も。場合によっては、住まいの困り事をその都度リフォームした方がラクに済むケースもあります。いずれにしても、リフォームは気になったタイミングが考えどき。「ここだけちょっと直したい」「こんな風にしたいけどできますか?」というような気軽なご相談も大歓迎です。住まいのかかりつけ医を目指します。



スマホをかざしてね!



河本工業株式会社

〒374-0057 館林市北成島町2544

新築のご用命はこちら

TEL.0276-72-3325

FAX.0276-72-3327

komoto-style.jp

河本工業 住宅

検索

リフォームのご用命はこちら

0120-75-9188

本情報誌への掲載や出演のお問い合わせは info@coiki.net まで

POSTSCRIPT

今回の川邊様・鎌田様の工事は、新型コロナ禍の中での工事でご迷惑をおかけしましたが、お施主様との打合せ・現地確認においては大変ご苦労をお掛けしました。無事に完成・お引渡しができたことは非常に喜ばしいことです。これからも末永いお付き合いを宜しくお願いします。弊社もおかげ様で8月に創業75周年を迎えることができました。「顧客の戦略に寄り添い真心で応える」「ものづくりにかける情熱は誰にも負けない」といった創業以来の伝統を基本理念とし、人と人との心組みを大切に、地域社会のお役に立つベターカンパニーを目指してまいりますので、今後も現状に甘んじることなく、チャレンジ精神を忘れずに、次へと邁進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

KOMOTO STYLE 編集委員会 編集長 山本 悟

STAFF □ EDITOR IN CHIEF: Satoru Yamamoto □ SPECIAL THANKS CREATORS: W/Tomomi Kato, P/Masaaki Konno, D/DESIGN NU, DIRECTOR: COIKI INC.